

# 「神のともし火は消えず」

2025.9.3

聖書に学ぶ 21

I サムエル記 2:12~3:21

「信仰は聞くことからくる。聞くことは神のことばからくる」(ローマ 10 : 17)。  
幼いサムエルは神のみことばによって成長し、生涯、主に仕えました。  
今、私たちも神のみことばを、真実な心で、聞くことができるでしょうか。

## 今日の学びの要点

神は暗黒のような時代に、サムエルを神の預言者として育て、その時代に神のみことばの光を与えました。今の時代に私たちも、聖書を通してイエス・キリストの恵みを心に頂き、福音を伝えることができます。

## I、主のことばが稀な時代 (Iサムエル記 2:12~36)

1、サムエルは祭司エリの元で養育されることになりました。その祭司エリの家はどのような状況だったのでしょうか。(Iサムエル記 2:12~17)

①エリの子どもたち、ホフニとピネハスの罪とはどういう罪でしたか。

(Iサムエル記 2:29)

②祭司エリは息子たちにどのように忠告したのでしょうか。(Iサムエル記 2:23~25)

③神の人は、エリが息子たちに言うことの中で、何が問題だと言っていますか。

(Iサムエル記 2:29)

2、神様から遣わされた神の人は、祭司エリの家のおさばきだけでなく、新しい祭司の預言を語りました。誰のことでしょうか。(Iサムエル記 2:35)

## II、主の呼びかけ

(Iサムエル記 3:1~14)

1、ハンナの祈りによって献げられたサムエルは、どのように育ったのでしょうか。

① Iサムエル記 2：18… 亜麻布のエポデ（参照 v28 祭司だけに許されている衣）

② Iサムエル記 2：26…

③ Iサムエル記 3：1～3… サムエルは主の神殿に寝ていました。エリはどこで寝ていましたか。

## 2、主が始めてサムエルに語られた場面です。

①3度目に「しもべは…主よ、お話ください」とサムエルが言うまで、主は語り始められませんでした。どうしてサムエルの言葉を待っておられたのでしょうか。  
(マタイ7:7)

②「サムエルは主を知らなかった」とあります。毎日神殿の神の箱の近くで寝起きしていたのに、これはどういうことでしょうか。（Iサムエル記 3:7）

## Ⅲ、神の預言者サムエル

(Iサムエル記 3:16～21)

1、主がサムエルに初めて語られた預言は、エリの子の災いでした。  
エリに話すのをしぶるサムエルに、エリは何と言いましたか。

(Iサムエル記 3:16～17)

2、「神のともしびはまだ消えず」(Iサムエル記 3:3) とあります。

この「神のともしび」とは何でしょうか。（出エジプト 27:20～21）

①幼子サムエルは、暗い時代の「神のともしび」となって輝いていました。

②新約において、救い主イエス・キリストは「神のともしび」です。

- ・ヨハネ 1:9…
- ・ヨハネ 1:5…
- ・ヨハネ 8:12…